エコトピア新聞

六月号

プール監視をしていて気になるアクセサリー類

今年は6月に入った途端、30度を超える日が続き例年よりも早くエコトピアのプールも混雑が始まりました。プールの入水者も増え、プールも混雑し始めると普段よりも目につく点が出てきます。それはお客様がしているピアスやネックレスなどのアクセサリー類です。これらの危険性については一昨年の当新聞でも記事にしましたが、今一度こちらでお知らせし、注意喚起を行いたいと思います。

○ネックレスの危険性

プール内で出血を伴う事故で意外と多いのがネックレスをしたまま入水し、首元の皮膚が切れてしまうという事故です。

長時間に渡りプールに入っていることにより皮膚が柔らかくなり、少しの衝撃で出血してしまう事例が多く、またお子様連れの方では、子どもが溺れそうな時に普段以上の力でネックレスをつかんでしまい、首の後ろ側が切れ、出血量も多くなる事故も起きています。

首の浅い所には動脈があり、少しの力でも大出血になってしまうケースもあります。

○ピアスの危険性

ピアスもネックレス同様に事故が多いアクセサリーです。

プールを利用されているお客様同士がすれ違う際に、相手の指先が自分の耳元に触れ、ピアスの留め具ごと切れてしまう事故も少なくありません。

耳たぶに裂傷が起きてしまい、そこから細菌が侵入し、さらに状態を悪化させた事例もあります。

またネックレスと同じく、お子様が溺れそうになり、お母さんにつかまった際にピアスがあったことにより、耳たぶが裂けた事故も起きています。

最近は多くのピアスをしている若い方も見られますが、耳だけではなくピアスを外して入水することをお勧めします。

○腕時計の危険性

腕時計はネックレスやピアスのように自分で出血してしまうのではなく、遊泳中に他のお客様やお子様にケガをさせてしまう恐れがあります。

実際に遊泳中に他のお客様とすれ違う際、相手のゴーグルを腕時計で叩いてしまい、ゴーグルが眼に入り込み、眼球から出血をさせてしまう事故も起きています。

また完全防水をうたっている腕時計でも、プール内の塩素によって起動部の深い部分に結晶が出来、故障した例もあります。

事故防止のため…

また大切な時計のためにも、入水する際は外していただくことをお勧めします。

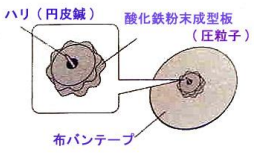
入水時、アクセサリー以外にも注意が必要なもの…

プール入る際に水質の衛生管理上、外していただきたいものは他にもあります。それは写真にあるようにキズ判の類や、シップ類です。広告などで水に強い！と謳っていても、プールの中での動きや水流によって、どんなに強い粘着力があっても必ず外れます。またシップ類は肌に粘着させるためにポリマーを使用しており、それらを体に付けたまま水に浸かると、ポリマーが水を吸収し下の写真のように寒天状になります。見た目も悪く、後の処理も大変難しいため、これらも外して入水してください。

キズ判やシップを使用しなければならない状況と時には、なるべくなら入水を控え、それらの症状を治してからプールを利用するようにしてください。包帯やサポーターなども水に入ると効果はほとんどなくなります。

貼る針も危険です

エレキバンタイプの治療用品の中には、左下の図のような針がついたものもあります。これらを体に付けたまま入水し、そのうちに剥がれてしまうと、他のお客様が足で踏んで出血する事故も起きています。これらのものは付けていることを忘れてしまうこともあるために、入水する前に確認してください。



お客様がより便利に安全に利用できるように…

エコトピア寿では、よりお客様が施設を便利に使えるように、小さい所から改善を行っております。それらの多くは他の施設で既に取り入れられている部分が大半ですが、ちょっとしたことでお客様が便利に容易に施設を使えるようになれば…と思っております。

最初に、下の写真にあるようにプール階段下の手すりにS字フックを取りつけました。エコトピアはプールの後にお風呂に入られる方が多く、プールサイドまでご自身の手荷物やタオルを持参する方が多く見られます。それらのお客様が簡単に荷物をかけられるようにするためのちょっとした工夫です。それ以外でもお客様なりの使い方をしていただければ幸いと考えております。

また1階のプール更衣室内のスノコを取り払い、2階プール階段出入り口付近と同じように人工芝タイプの水の乾きが早いマットを取り入れました。1階更衣室は小さなお子様連れのお客様や、障害のあるお客様の利用が多く、スノコの段差や隙間が大変不便であると考えていました。濡れた状態で更衣室に入っても、水の乾きが早いため、以前よりも着替えに不便を感じないと思います。

また最近のお子様連れを見ていますと、お父さんだけでオムツの取れていない子供を連れて来られる方も多いと感じています。そこで1階更衣室内にオムツ替え用の台なども導入できるように考えています。

プール内の滑り台出口付近の注意点

今年の3月に新たに塗りなおした子ども用プールの滑り台出口付近ですが、これから本格的な混雑期に入る前に注意すべき点をお知らせいたします。

毎年この付近では、滑ってきたお子様と出口付近で遊んでいるお子様の衝突が絶えず、中には出血をしてしまう事例もありました。

そこで今年は出口付近の床を半円状に色分けを施し、視覚的にも制限を感じられるようにしました。プール内が混雑してきたら、監視員もここには常駐しお客様に注意喚起を行いますが、お客様ご自身でも、この付近は危険な個所であると認識しておいてください。

具体的には、滑り台の上に子どもがいたら、ピンクのエリアから出る・立ち入らないでください。滑り終えた子どもがいた場合には、そこから早く出るように声をかけてください。水慣れのためにこの付近でお子様を遊ばせている親御さんを見ることが多いですが、他の場所が空いている時はそちらを使っていただければ幸いです。滑ってくるかどうか、出口付近から滑り台の中を覗きこむと危険です。そして、監視員の指示に従って安全にご利用ください。

お客様からの声

①ロテン風呂はゴミと虫で大変です。湯をおおめにお願いします。

※五十代：男性

②とても良いです。けっこう利用させてもらっているのですが、とてもいいなと思っています。

※小学校5年になる女の子

エコトピアより…

貴重なご意見、ありがとうございます。

①について…

毎年この時期になると、どちらの露天風呂も虫が入ることがあります。特に湿度の高い日や、雨上がりなどは虫も多くわくため露天風呂に虫が入ることが多いようです。また露天風呂内で体を洗うお客様もいるとの報告も上がっています（完全なルール違反です）。湯垢とは異なる皮脂の汚れも浮いているのも事実です。設備担当と相談して、湯量の調整なども進めたいと考えています。

②について…

とてもうれしい意見で、職員も喜んでいます。こう言った声がたくさん出てくるように、職員みんなで頑張っていきたいと思います。常連のお客様も初見のお子様たちに温かい応対をしていただければ幸いです。

編集後記…

最近は私自身も監視に出る機会も多くなり、帰宅すると疲れですぐ熟睡…なんて日も出てきています。休みの日も寝てたい！と思っても休ませてくれない双子の娘…。今月で2歳になりますが、走りまくり高い所からジャンプしまくり、しまいには面白くないことがあれば、お互いに噛みまくり…で。だいぶ言葉もはっきりしてきているので、可愛さは増してますが目が離せません。仕事でも監視、家でも監視…。最近の目の疲れはパソコン作業が原因ではないことに気づきました。